

2-1

Ver.8.0 新機能

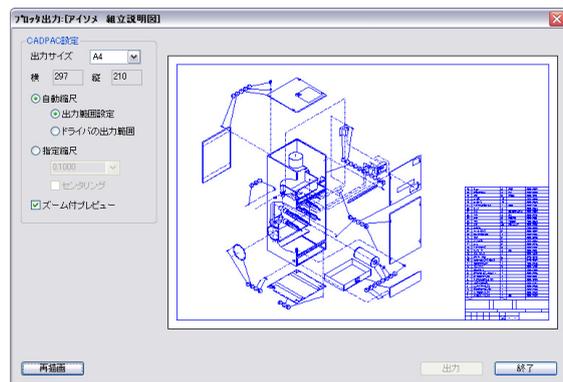
CADPAC-CIVIL Ver.8.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.7.5 からの差分です)
[****/****] は、該当のオンラインヘルプです。

共通機能

1. インストーラー Ver.8.0 をインストールする際に、すでにインストールされているオプションがあれば、オプションチェックを自動的にオンします。
[セットアップマニュアル]
2. CSB 履歴値 CSB の履歴値 (数値データなどの前回の値の保存) を 50 個までに制限しました。これによりコマンドの起動時間を短縮化することができます。
[ヘルプ / 更新を確認]
3. マウスアクション CADPAC 再起動後もマウスアクションの履歴を保持するようにしました。
マウス前回値コマンド [基本操作 2/ 前回コマンド]

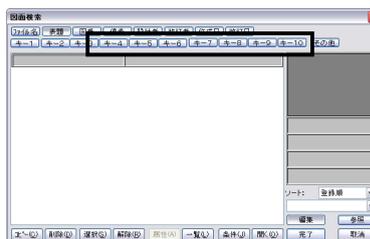
4. 出図

ダイアログボックスを全体的に見直し、操作性の改善をおこないました。ドライブ設定と基本設定を一つのダイアログボックスにまとめ、環境名をツリー化しました。またプレビューを見ながらの出図設定を可能にするなど、よりビジュアルで使いやすくなりました。[ファイル / 出図]



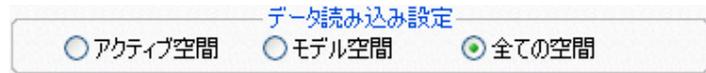
5. 図面検索

条件キー 4 から 10 に対応しました。図面検索ダイアログ、条件検索ダイアログそれぞれにキー 4 からキー 10 が追加されています。[ファイル / 図面検索]



6. DWG・DXF 入力

DXF/DWG の図面入力で、モデル空間とレイアウト空間がある図面を、
 バインダーシートに一括ですべて読み込むモードを追加しました。
 [ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]



7. DWG・DXF 入力

第 1 原点を AutoCAD 原点 (0,0) へ合わせて変換できるようになりました。
 [ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]



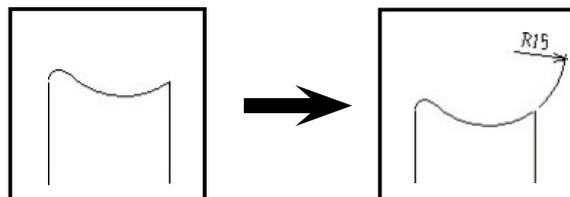
8. 平行寸法

外寸内矢の作図が可能になりました。マウス右クリックで通常の両外寸形状と切り替わります。
 [作図 / 寸法 / 平行寸法]



9. 円寸法

寸法が作図対象の円弧要素の範囲から出る場合、指定した円弧の延長円弧を作成し、そこに半径・直径寸法を作図できるようになりました。
 外寸補助線を作図するかしらないかを設定で定義できます。
 [作図 / 寸法 / 円寸法]

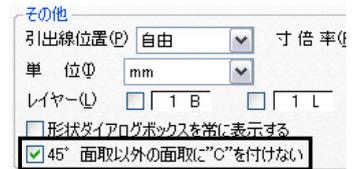


10. 面取寸法

作図する際修飾される接頭語”C”を除いて描画できるようになりました。

[7. 設定]の共通タブにある「45°面取以外の面取に”C”をつけない」にチェックを入れると機能が有効になります。

[作図 / 寸法 / 面取寸法]



11. オフセット寸法

「平行寸法」コマンドと同じように「逐次モード」と「一括モード」が選択できるようになりました。[8. 設定]の共通タブにあるプルダウンメニューで変更できます。

[作図 / 寸法 / オフセット寸法]



12. 連結文字

寸法文字等のグループ化されている文字要素に対しても連結文字を付加できるようになりました。

[作図 / 文字記入 / 連結文字]

13. 切取複写

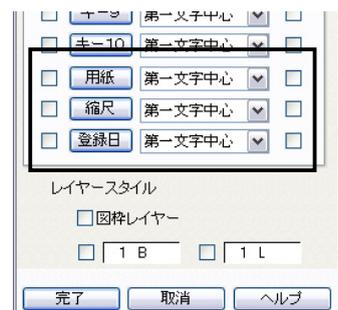
非表示・非検出のレイヤーの要素を省いて切取処理するようになりました。

[編集 / 複写 / 切取複写]

14. 図枠情報設定

新たに「用紙サイズ」「縮尺」「登録日」を図面に配置できるようになりました。

[構成 / 図枠 / 図枠情報設定]

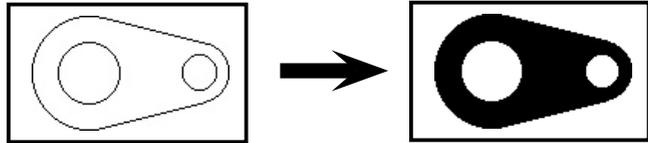


15. 塗潰し図形

塗潰し図形とは、要素で構成された図形に対して指定の色彩により、ベタで塗りつぶす機能です。塗潰し図形は他の要素と上限関係の設定を行うことができます。

塗潰し図形のプロッタ出力は、ラスター系のデータが出図可能なプロッタにより出図します。

[構成 / 塗潰し図形 /]



16. システム設定・バインダー

バインダーウィンドウのタグに表示するシート名の初期値の参照先を指定できるようになりました。

[補助 / システム設定 / バインダー]

